

第111回ナノサイエンスデザイン教育研究センター運営委員会議事要旨

開催日時：令和3年3月9日（火）15：30～16：45

開催方法：V-CUBEによるオンライン会議

出席者：藤原委員長（工）、宮坂（基）、吉田（産）、竹田（ナノ）、伊藤（ナノ）、中澤（理）、松野（理）、岡山（医：代理）、尾崎（工）、森川（工）、保田（工）、酒井（基）、出口（基）、谷口（産）、節原（接）、藤岡（ナノ）

オブザーバー：飯島（学位）

連絡事項

委員長から、前回（1月19日）開催の第110回運営委員会の議事要旨（案）については、各委員に意見照会し、特に意見がなかったことから、資料2のとおり確定した旨の報告があった。

【報告事項】

1. 令和3年度社会人教育第18期生応募状況について

委員長および伊藤委員から、資料3に基づき、令和3年度社会人教育第18期生の応募状況について報告があり、併せて各委員に対し締切（3/15）までの受講生呼びかけについて協力要請があった。

2. 社会人教育第17期生修了式・第18期生開講式（4/2）の規模縮小について

委員長から、4月2日に開催予定の「社会人教育第17期生修了式・第18期生開講式」は、新型コロナウイルス感染防止の観点から規模を縮小して、資料4のとおり第18期生に対する履修ガイダンスおよび特別講義のみとした旨の説明があった。

3. 第3回ナノ理工学情報交流会（2/18）の開催結果について

委員長から、資料5に基づき、2月18日にオンラインとの併用で開催した「第3回ナノ理工学情報交流会」の参加人数等について報告があった。

4. 大学院副専攻・高度副プログラム紹介ハンドブックの作成について

委員長から、学生・教職員への配布用として、大学院副専攻・高度副プログラム紹介ハンドブックを作成した旨の報告があった。

5. 令和3年度副専攻・高度副プログラムの説明会について

委員長および伊藤委員から、資料6に基づき、オンデマンドで実施予定の令和3年度副専攻・高度副プログラムのガイダンス日程等に関する説明、並びに関連研究科での新入生ガイダンスにおけるナノプログラムの紹介に関する協力要請があった。

6. 産学官連携問題委員会報告について

委員長から、資料7に基づき、共同研究（変更申込）1件の受入れについて報告があった。

7. 全学組織等点検ヒヤリングに係わる「評価結果」と今後の対応方針について

委員長および伊藤委員から、資料8に基づき、田中統括理事から示された全学組織等点検評価結果ならびに令和3年度中に検討すべき課題について説明があり、回答〆切（5/8）までに対応方針等について、センター長および副センター長を中心に検討したい旨の説明があった。

8. 部局年度計画等の作成について

委員長および伊藤委員から、令和3年度部局年度計画等について、センター長および副センター長等を中心に検討のうえ、資料9のとおり作成した旨の報告があった。

9. 令和4年度概算要求について

委員長および伊藤委員から、資料10に基づき、財務部長ヒヤリング（3/4）で、令和4年度の概算要求事項として「高度人材育成の多様な知のシナジー効果によるものづくり国際共創拠点形成」の要点について説明を行った旨の報告があった。

1 0. ASEAN Joint Workshops (3/23-24)の開催について

委員長および伊藤委員から、資料1 1に基づき、ASEAN研究者・学生交流プロジェクトの一環として、ベトナム科学技術院物質科学研究所(VAST-IMS)・マレーシア科学大学(USM)・INSD合同のワークショップをオンラインで開催する旨の報告があった。

1 1. 大阪大学周年事業 オンライン特別講義プログラムについて

委員長および伊藤委員から、資料1 2に基づき、ASEANプロジェクトの一環として、今年5月から7月にかけて、計8コマの学部向け科目(英語授業)を提供する旨の報告があった。

1 2. その他

1) 年度計画達成度評価シートの部局分提出について

委員長から、令和2年度の部局年度計画達成度評価について、センター長および副センター長で構成する達成度評価委員会で検討のうえ、作成した同シートを次回運営委員会で報告する旨の説明があった。

2) 一部の実習装置の課金制度実施について

委員長から、研究人材育成活動に資することを目的に、電子ビーム描画装置や透過電子顕微鏡など維持費が高額となる装置類について、空き時間に有料で学内外の利用を認めたい(ただし、高度副プログラム、副専攻プログラムに参加する学生には課金しない)旨の説明があった。

3) 就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業について

委員長および伊藤委員から、資料1 3に基づき、文科省の「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」に、本センターとして応募を検討中である旨の報告があった。

【審議事項】

1. 教員人事について

委員長から、資料1 4に基づき、令和2年度の招へい教員(追加分)および兼任教員について説明があり、審議の結果、承認された。

2. 令和3年度センター運営委員会委員等について

委員長から、資料1 5に基づき、令和3年度の本運営委員会委員(任期はナノサイエンスデザイン教育研究センターの時限が到来する令和4年3月31日までの1年間)について説明があり、審議の結果、承認された。

3. 令和2年度大学院前・後期課程プログラム修了認定について

委員長から、令和2年度大学院前・後期課程プログラム修了認定について、所属本専攻の修了認定が現時点で確定していないことから、本プログラムの修了認定及び修了認定証授与に関しては、センター長一任で行いたい旨の提案があり、審議の結果、承認された。

また、本プログラムの修了認定、並びに来年度在学生の修了資格取得者リストを含めて、次回の本委員会にて報告する旨、併せて説明があった。

4. 令和2年度社会人教育第17期生(科目等履修生)の修了認定について

委員長から、資料1 6に基づき、令和2年度社会人教育第17期生(科目等履修生)の修了認定について説明があり、審議の結果、承認された。

5. 令和3年度社会人教育第18期生(科目等履修生)の入学許可について

委員長から、令和3年度社会人教育第18期生(科目等履修生)の入学許可について、3月15日の第2期募集締切り後に入学判定を行うため、センター長に一任願いたい旨の提案があり、審議の結果、承認された。

また、入学者のリストについては、次回の本委員会にて報告する旨、併せて説明があった。

6. 博士後期課程社会人ナノ理工学特別コース（秋入学）募集要項について

委員長および伊藤委員から、資料17に基づき、各研究科の承認を得た後に公表予定である博士後期課程社会人ナノ理工学特別コース（秋入学）募集要項（案）について説明があり、審議の結果、承認された。

7. その他

1) 運営委員会の開催日程

委員長から、本運営委員会の開催日程について、原則毎月第2火曜日とし、重要な議題がなければ偶数月は休会とするとともに、当面はオンライン開催とする旨の説明があり、異議なく承認された。

※次回開催日程について

今回は、令和3年5月11日（火）15：30から、V-CUBEによるオンライン会議にて開催予定